

都市再生整備計画 事後評価シート
東海道原宿地区

令和2年2月

静岡県沼津市

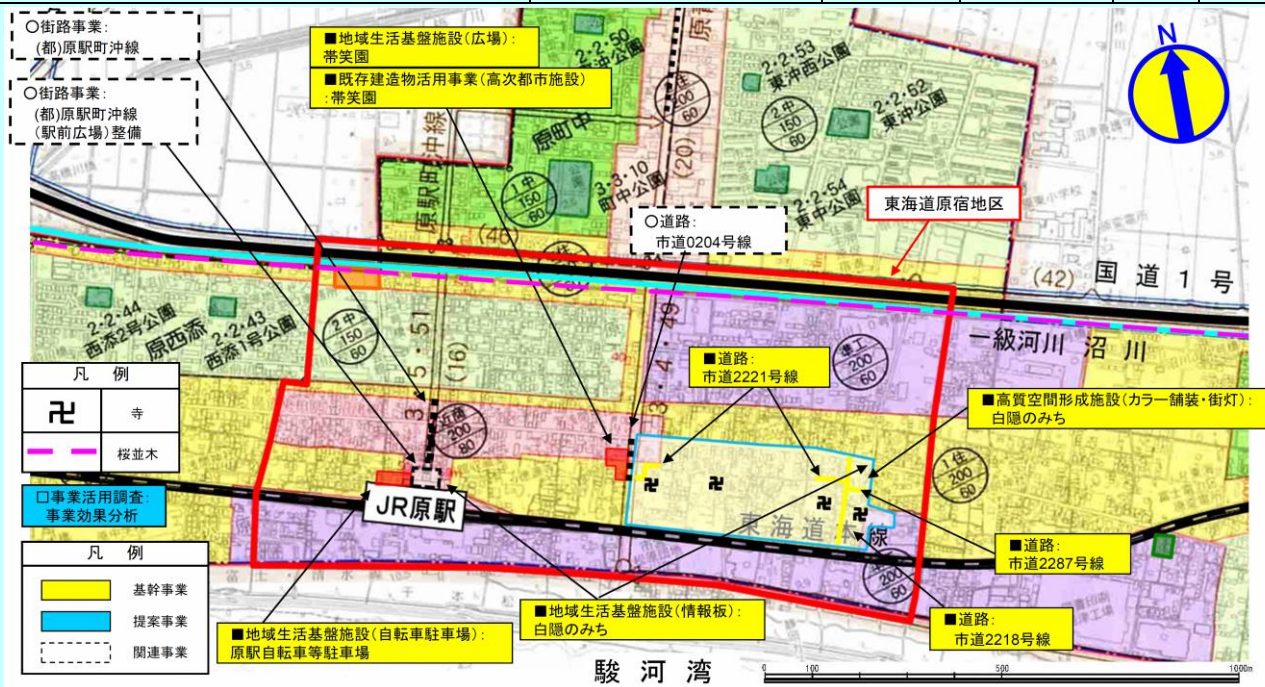
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	沼津市		地区名	東海道原宿			面積	91ha	
交付期間	平成27年度～平成31年度		事後評価実施時期	平成31年/令和元年度		交付対象事業費	247	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【歴史的資源活用による賑わいの再生】・道路:市道2221号線・道路:市道2209号線・道路:市道2222号線・道路:市道2287号線・道路:市道2218号線・地域生活基盤施設(広場・駐車場):帯笑園・地域生活基盤施設(情報板):白隠のみち・高質空間形成施設(カラー舗装):白隠のみち・高質空間形成施設(街灯):白隠のみち・既存建物活用事業:帯笑園、【風情あるまち並みの創出】・道路:市道2221号線・道路:市道2209号線・道路:市道2222号線・道路:市道2287号線・道路:市道2218号線・地域生活基盤施設(情報板):白隠のみち・高質空間形成施設(カラー舗装):白隠のみち・高質空間形成施設(街灯):白隠のみち、【来訪者の誘引による活性化の推進】・地域生活基盤施設(情報板):白隠のみち・地域生活基盤施設(自転車駐車場):原駅自転車等駐車場									
		提案事業	【風情あるまち並みの創出】事業活用調査:事業効果分析 【来訪者の誘引による活性化の推進】事業活用調査:事業効果分析									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(駐車場):帯笑園	削除/追加の理由			既存建物活用事業(臨春亭、西藏)の駐車場として位置付け整備を行ったため削除した。					
		提案事業		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			既存建物活用事業にて整備を行ったため、指標への影響はない。					
	新たに追加した事業	基幹事業										
		提案事業										
交付期間の変更	当初変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	歴史的資源の活用への実感度	%	31.0	H26	60.0	H31	40.2	△	あり なし ●	目標値には至っていないものの、従前値より上昇している。また、30歳代～70歳代における従前値の上昇、事業対象地域近における従前値の上昇、さらに個々の事業に対する評価結果から、事業の効果は出ている。	
	指標2	まち並みの整備に対する実感度	%	35.0	H26	60.0	H31	43.6	△	あり なし ●	目標値には至っていないものの、従前値より上昇している。40歳代、50歳代が概ね達成。本計画において重点的に整備された大塚本田での目標達成、「地区の歴史・文化と調和する、風情あるまち並みの形成」(アンケート回答)結果から、事業の効果は出ている。	
	指標3	原駅の年間乗降者数	千人/年	1,739	H24	1,800	H31	1,699	△	あり なし ●	目標値には至っていないものの、「本地区は交通利便性の高いまちだと思いますか?」本地区は、賑わいのあるまちだと思いますか?」が、それぞれ基準年から上昇しており、事業の効果は出ている。	
	指標4									あり なし		
	指標5									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	帯笑園来園者数	人/半年	1500	-			2,874			当初想定していた約2倍の来園があり事業効果が出ている。また、文化拠点及び地域交流の場としての活用が期待され、指標1～3の改善が見込まれる。	
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	交付期間途中に実施事業の効果、目標指標の確認を行った。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 他地区の都市再生整備計画において適宜モニタリングを実施していく。				
	住民参加プロセス	【官民協働によるまちづくりの実施】白隠のみち整備にあたっては、平成17年度に地元自治会、商工会、寺院等の代表者によって設立された「白隠のみち整備協議会」と共に、整備内容の検討・提案・合意形成を図り、官民協働によるまちづくりを進めた。また、協議会が円滑に進行する様に必要な支援(運営支援・事例視察の支援等)を行っている。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 今後については、地元組織との連携を一層図り、地区内における歴史的資源の情報発信を推進する。				
	持続的なまちづくり体制の構築	原駅周辺において実施している6つの事業を統一したイメージのもと整備を進めるため、各事業課及び地元組織、有識者の方に意見を伺い、整備を進めている。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 全6事業の内4事業は完了したが、残る2事業においても引き続き統一的な整備方針をもとに整備ができるよう支援する。				

様式2-2 地区の概要

東海道原宿地区(静岡県沼津市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標 原の資源を活用した、歴史・文化が薫るまちづくり 目標1 原の歴史的資源の活用による、地区のにぎわいの再生 目標2 地区の歴史・文化と調和する、風情あるまち並みの形成 目標3 新たな来訪者の誘引による地区の活性化の推進	歴史的資源の活用への実感度	単位: %	31	H26年度	60	R1年度	40.2	R1年度
	まち並みの整備に対する実感度	単位: %	35	H26年度	60	R1年度	43.6	R1年度
	原駅の年間乗降者数	単位: 千人/年	1,739	H24年度	1,800	R1年度	1,699	H29年度
		単位:		H		H		H
		単位:		H		H		H



まちの課題の変化	<p>【歴史的資源の保全・活用】帯笑園、白隠のみち、自転車等駐車場の整備によって歴史的資源の有効活用が可能となり、個々の事業の整備への実感はあるという結果を踏まえ、今後においては、これらの歴史資源を活かしたまちづくり及び本地区のPRの充実が必要となる。</p> <p>【歴史に相応しい景観づくり】本地区に相応しい舗装や防犯灯を整備したことで、歴史や文化を感じる風情ある景観づくりが推進されたが、事業完了後、地区内で生じる道路後退事案についても、継続した景観まちづくり、景観舗装で整備されるよう体制構築が求められる。</p> <p>【来訪者の円滑かつ安全な誘導】原駅自転車等駐車場の整備、歩行者サインの設置によって、原駅周辺の利便性の向上及び地区内の歴史的資源への円滑かつ安全な誘導ができることとなったが、今後予定している事業について、統一したデザインコンセプトに基づきユニバーサルデザインに配慮した基盤整備の実施が求められている。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>歴史的資源相互の連携強化や沼津市公式観光サイト「沼津観光ポータル」の整備など地区の魅力効果を効果的に情報発信し、地区の回遊性の創出を図ることで、都市再生整備計画に掲げた目標達成を目指していく。</p>